

トータルブレインの月例レポート⑨

**好立地でない好調マンション**

丘駅徒歩13分という駅遠立地。しかも約半分の住戸が専有面積40~50m<sup>2</sup>台、1LDK、2LDKというコンパクト商品が占めた。地元主体に週当たり20件程度をコンスタントに集客を続け、240組の総来場を獲得、15%の歩留まりをマークした。

◇ ◇ ◇ 同社の分析による好調のポイントは、①計画地周辺の再開発・大江戸線の延伸に伴う新駅計画などの将来期待値の高い立地と、②2490万円(平均3665万円)の販売価格と208・3万円の平均坪単価という割安感の2点。更に、周辺の年間平均供給が30~40戸といった需給バランスもた。販売に追いついた。風となつた。

**リリーゼ光が丘****将来期待の立地、早期完売  
コンパクト系の需要開拓も**

ナット無垢材フローリング、採風玄関ドアなど、デザインや仕上げのグレード感も高く評価している。

練馬区、光が丘というファンシードームがこのエリアにコンパクト系の潜在ニーズがあつて、これまでコンパクト系の供給はほとんどないに等しかったが、単身、デインクス向け住戸も早期完売し、同マ

ンションがこのエリアにコンパクト系の潜在ニーズがあつたことを開拓した点にも同社は着目している。

【データ】専有面積40・07

572・82m<sup>2</sup>。販売価格2490万円(平均3665万円)の販売価格と208・3万円の平均坪単価という割安感の2点。更に、周辺の年間平均供給が30~40戸といった需給バランスもた。販売に追いついた。風となつた。

全9物件が選ばれた「一流立地でなくても販売好調なマンション」の最終回は、5月に建て・全37戸と小規模で、実質3カ月で完売に至った「リーゼ光が丘」(事業主・田中建設)。全体的に販売苦戦が目立つ練馬区で、都営大江戸線光が丘駅徒歩13分という駅遠立地。しかも約半分の住戸が専有面積40~50m<sup>2</sup>台、1LDK、2LDKというコンパクト商品が占めた。地元主体に週当たり20件程度をコンスタントに集客を続け、240組の総来場を獲得、15%の歩留まりをマークした。

◇ ◇ ◇ 同社の分析による好調のポイントは、①計画地周辺の再開発・大江戸線の延伸に伴う新駅計画などの将来期待値の高い立地と、②2490万円(平均3665万円)の販売価格と208・3万円の平均坪単価という割安感の2点。更に、周辺の年間平均供給が30~40戸といった需給バランスもた。販売に追いついた。風となつた。

**項目別評価**

沿線力	◎
駅力	◎
駅距離	△
バス利便性	-
地元民力	○
市場消化能力	◎
住環境	○
生活利便性	○
需給バランス	○
価格割安感	○
グロスマッチ	○
商品グレード	◎

※印は良い順から◎○△の3段階評価でーは評価なし